

令和 5 年度  
第 1 回東京都渋滞対策推進会議  
幹事会

令和 5 年 4 月 27 日（木）

都庁第一本庁舎 34 階  
都民安全推進部 34B 会議室

午後 3 時 00 分開会

○事務局職員（渡辺） それでは、定時となりましたので開始させていただきたいと思えます。

本日は、大変お忙しい中、ご参加いただきまして誠にありがとうございます。これより令和 5 年度第 1 回東京都渋滞対策推進会議幹事会を開始いたします。本日の司会進行を務めさせていただきます東京都生活文化スポーツ局都民安全推進部総合推進課渡辺でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本来であれば、議事に入ります前に幹事会の座長を務めます都民安全推進部交通安全担当課長の山口よりごあいさつを申し上げるところですが、本日は公務により欠席とさせていただきますのでご容赦願います。

それでは、議事に移らせていただきます。本日の会議は、会議次第に従って進めさせていただきます。円滑な進行に努めてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

まず、初めに、議題 1、令和 4 年度事業実績及び令和 5 年度事業計画について各部署よりご説明をいただきたいと思えます。

なお、新年度を迎えます、幹事のメンバーも入れ替わっておりますので、発表前に部署名とお名前をお願いいたします。

まず、初めに、令和 4 年度の事業実績について、東京国道事務所様ご説明をお願いいたします。

○岩谷東京国道事務所交通対策課専門官 東京国道事務所の交通対策課の岩谷と申します。幹事の交通対策課長の関が、所用のため代理で出ております。

令和 4 年度の事業実績ですが、金町 3 丁目交差点で交差点改良を実施しております。対策内容は、交差点のコンパクト化、横断歩道の前出し、停止線の前出しを行っております。

○事務局職員（渡辺） ありがとうございます。続きまして、警視庁お願いをします。

○小川警視庁交通規制課都市交通管理室係長 警視庁交通規制課の小川と申します。幹事である管理官の中川が所用のため、代理でご説明させていただきます。

令和 4 年度の事業実績としまして、警視庁においては、信号制御の高度化・最適化と、

交通情報板の整備、この二つを大きく分けて実施しております。

一つ目の信号制御の高度化・最適化については、西東京市富士町交差点において需要予測信号制御を実施しました。

二つ目の交通情報板の整備については、甲州街道上りの渋滞対策として、杉並区久我山2丁目、環七通り外回りの渋滞対策として世田谷区上馬にそれぞれ情報板を設置しました。

○事務局員（渡辺）ありがとうございました。続きまして、都市整備局お願いをします。

○小島都市整備局都市基盤部交通計画調整担当課長 都市整備局交通計画調整担当課長の小島と申します。よろしくお願ひいたします。

都市整備局では、大きく路上客待ちタクシー対策と荷さばき可能駐車場の確保を実施しております。

路上客待ちタクシーの対策につきましては、客待ちタクシーの待機場所解消渋滞、待機列渋滞、待機列の解消対策に関わる課題整理、特に、都内の主要駅におけるショットガンシステムの導入可能性の調査しております。銀座のショットガンシステムはETCを使ったシステムで古くなっておりますので、そちらについて新しいシステムの検討をしております。

また、銀座ショットガンシステム運用支援ということで、関連団体との調整をするために銀座ショットガン運営協議会の会議に参加して調整を図っております。

次に、荷さばき可能駐車場の確保につきましては、課題を整理し、それを踏まえて具体的な検討をしている状況です。

○事務局員（渡辺）ありがとうございました。続きまして、建設局お願いをします。

○阪上建設局道路管理部安全施設課主任 建設局道路管理部安全施設課の阪上です。本日、安全施設課長の前田課長が別件で不在としておりますので、代わりに説明させていただきます。

建設局の令和4年度実績は、赤系カラー舗装の塗布、駐停車禁止看板の設置を実施しております。場所は、六本木通りの六本木交差点になります。

○事務局員（渡辺）ありがとうございました。

続きまして、生活文化スポーツ局お願いをします。

○鈴木生活文化スポーツ局都民安全推進部連携担当課長 生活文化スポーツ局都民安全推

進部連携担当課長の鈴木と申します。よろしくお願いたします。

生活文化スポーツ局の令和4年度事業実績は、大きく分けて二つございます。まず、一つ目が、渋滞対策に関する調査・研究、二つ目がドライバーに対する普及啓発となります。

まず、一つ目の調査・研究ですが、今後の渋滞対策に向けた情報収集の意味で有識者への意見聴取や、企業等へのヒアリングを実施しました。

二つ目の普及啓発につきましては、昨年度は渋滞が悪化する時期を警視庁からデータを頂き検討いたしまして、9月と年末、年度末を重点期間に設定して広報活動を展開いたしました。

まず、9月はスマートフォンの経路検索サイトに広告を出しました。また、道路上の情報板で呼び掛けを行い、ラジオCMを実施いたしました。道路上の情報板での呼び掛けにつきましては、警視庁、建設局、東京国道事務所に非常にご協力をいただきましたことをこの場を借りてお礼を申し上げます。

続いて、年末から年度末については、「スムーズ運転シミュレータ」という渋滞緩和につながる運転方法を学べるシミュレータを活用いたしまして、交通安全イベントに出展を行いました。ガソリンスタンドでは、映像の放映、レシート裏の広告、啓発品の配布を実施いたしました。また、情報誌への広告出稿を行いました。

その他、重点期間にかかわらず、生活文化スポーツ局内のスポーツイベントや、区市町村主催の交通安全イベントなどと連携して広報活動を実施してまいりました。

次に、令和4年度のボトルネック交差点実施箇所一覧となります。令和4年度は、リアルタイム信号機1箇所、需要予測信号1箇所、交通情報板2箇所、赤系カラー舗装1箇所の対策を実施しました。

なお、需要予測信号1箇所につきましては、リアルタイム制御の直接対策箇所に重複しておるため、ボトルネック直接対策箇所数には計上しておりません。

従いまして、直接対策箇所1箇所、寄与箇所数計7箇所の合計8箇所、ボトルネック交差点に対する対策を実施いたしました。

○事務局員(渡辺) ありがとうございます。続きまして、令和5年度事業計画について、東京国道事務所よろしくお願いをします。

○岩谷交通対策課専門官 令和5年度事業計画は、京浜大橋北交差点の改良を行う予定で

す。

この場所は、日中時間帯におきまして大型車が絡む追突事故が発生しており、葛西方面から城南島方面に向かう左折車の渋滞が常態化しております。大型混入率が高いことから、大型車による渋滞事故の潜在性がある場所になっております。対策内容としては、大型車の追突事故対策の目的として、左折専用の増設、路面表示を行う予定となっております。

○事務局員（渡辺） ありがとうございます。続きまして、警視庁お願いをします。

○小川都市交通管理室係長 警視庁の令和5年度事業計画ということで、交通情報板の整備を1箇所予定しております。場所は、港区青山7丁目玉川通り下りの渋滞対策ということで、当該箇所は、首都高との並走区間でございます。そこで、首都高と玉川通りの所要時間を比較表示する情報板を設置することで、その経路選択を可能とすることになり、交差点の下流側の5箇所の交差点の渋滞緩和に寄与する対策となります。

○事務局員（渡辺） ありがとうございます。続きまして、都市整備局お願いをします。

○小島交通計画調整担当課長 路上客待ちタクシーの対策は基本的に昨年度の取組を継続しております。タクシー利用に関する調査結果を踏まえた対策の検討は、近年増えているタクシー配車アプリなどの利用状況も踏まえた対策として検討していきたいと考えております。ショットガンシステム運用支援は昨年度と同様です。

荷さばき可能駐車場の確保につきましては、利用促進の課題解決に向けて過年度調査した対策につきまして、試験的な実施と効果検証等を考えております。

○事務局員（渡辺） ありがとうございます。続きまして、建設局お願いをします。

○阪上安全施設課主任 建設局の令和5年度の事業計画になりますが、赤系カラー舗装の塗布になります。場所は外苑東通りの四谷三丁目交差点になります。

○事務局員（渡辺） ありがとうございます。続きまして、生活文化スポーツ局お願いをします。

○鈴木連携担当課長 生活文化スポーツ局の令和5年度事業計画につきましても、大きく分けて二つとなります。

まず、一つ目の調査に関しては、効果的な広報啓発に向けたドライバーの運転行動や意識に関する調査委託を実施してまいります。

二つ目の広報普及啓発につきましては、都内の渋滞が悪化する時期を重点期間として

広報活動を展開いたします。本年度は、直近の警視庁の交通年鑑等を基に、前年より早めの7月頃から重点期間を設けていきたいと検討しています。具体的な手段としましては、ラジオCMやインターネット広告、ガソリンスタンドでの啓発というこれまでの手法に加え、ショッピングモールでのサイネージという手法を検討しています。

次に、令和5年度のボトルネック交差点対策箇所一覧となります。令和5年度の予定は、交通情報板1カ所、赤系舗装1カ所で計2カ所の対策を予定しております。ボトルネック交差点対策計画箇所につきましては、寄与箇所の合計6カ所となります。

最後に、令和4年度と5年度の予算額となります。この表の中で令和5年度の予算額が減少しておりますが、これは令和4年度と比較して交通情報板の設置箇所数の減少及び赤系カラー舗装の塗布面積の減少によるものとなっております。

令和4年度事業実績及び令和5年度事業計画につきましては、こちらの資料を基に、今後開催予定の令和5年度東京都渋滞対策推進会議の資料を作成し、協議いたします。

○事務局員（渡辺） ありがとうございます。

次に、議題2、「都営バスのリアルタイム運行データを用いた渋滞検知サービスについて」であります。今年度、渋滞対策推進会議の取組として、外部の有識者などからレクチャーをいただき、渋滞対策に役立つ知見を推進会議メンバーで共有する機会を設けました。今回は、東京都と早稲田大学、お茶の水女子大学との共同事業である都営バスのリアルタイム運行データを用いた渋滞検知サービスについて共有いただくことになりました。本日は、その概要を政策企画局計画調整部大学連携担当の吉田課長からご紹介をいただきます。吉田課長お願いします。

○吉田政策企画局計画調整部大学連携担当課長 今ご紹介ありがとうございました政策企画局で大学連携担当課長をしています吉田と申します。よろしく願いいたします。

今回、本会議の場をお借りしまして、当方で実施をしております東京都と大学との共同事業のうち、この会議の趣旨に沿いました事業の内容をご紹介させていただきます。

まず、東京都と大学との共同事業についてご紹介をいたします。こちらは、政策企画局で所管しております大学との定例懇談会に参加している都内の27大学を対象とした事業でございます。過去の懇談会におきまして参加大学から都が大学とともにSDGsを実現する取組をしてはいかがかと提案いただいたのを契機に事業が立ち上がりました。

趣旨は、先ほど申し上げたとおり、SDGsの推進や都の目指すビジョン達成に資する共

同研究や共同事業を実施するというところでございます。

主な条件といたしましては、大学との定例懇談会に参加している大学が複数参加すること及び、研究等の成果を都民等に還元するというところでございます。

財政面の支援といたしましては、1プロジェクト当たり600万円を上限に単年度の補助をしております。財務局で所管されています「大学研究者による事業提案制度」と混同されやすいですが、あちらは複数年度で予算規模も大きい事業となっているというところでございます。

令和2年度から事業を始めまして、毎年テーマを定めながら3件ずつ採択をしているというところでございます。総合大学をはじめ、医療系や、理工系、芸術系などの大学で、バラエティーに富んだご提案をいただいているというところでございます。

今回ご紹介させていただくのは、令和4年度に採択した早稲田大学とお茶の水女子大学の共同事業になります。

令和4年度の募集テーマは、「After TOKYO2020 レガシーの発展による「未来の東京」の実現」というものでございました。今回の案件は「サステナブルで魅力あふれる社会」というものでのエントリーでございました。

それでは、具体的な事業内容についてご紹介をさせていただきます。事業名は、「都営バスのリアルタイム運行データを用いた渋滞検知サービス」でございます。本事業の大学の提案者は、早稲田大学理工学術院基幹理工学部の山名教授でございまして、来月5月11日に行われる渋滞対策推進会議の場におきましては、教授ご本人からこの共同事業の内容につきましてご紹介をいただく予定としております。

事業の概要でございますけれども、都営バスの時刻表データと、オープンデータ化されているリアルタイムの停留所の発車時刻データを突き合わせまして、AIで機械学習をさせることで新たな渋滞検知サービスを開発するというところでございます。

また、この検知方法を公開し、第三者への技術移転を目指しているというところでございます。

こうした取組を通じまして、渋滞の緩和や脱炭素社会の実現の貢献を目指すということとなります。

次に、具体的な取組内容につきまして簡単にご説明をさせていただきます。

まず、都営バスの運行データの収集をオープンデータから行いました。

次に、都バスの運行特性を知るための実地調査を行っております。都バスの時間調整の仕組みや、路線の車線数と渋滞との相関関係などを調べて、機械学習の調整に生かしたということでございます。

3番目としまして、警視庁の交通管制センターへのヒアリングを行っているということでございます。

4番目といたしまして、既存の渋滞情報サービスの精度調査を行っております。提供されている渋滞情報と実際の渋滞状況の比較を行うことを通じまして、機械学習に必要なデータの選定を行ったということでございます。

そして、5番目といたしまして、先ほどご紹介したオープンデータと、一つ前でご紹介した実地のデータを用いて渋滞検知のAIを構築したということでございます。

その結果としまして、渋滞検知Webサービスの開発に至りまして、Webサイトで公開をしているというところでございます。

今後の展開といたしまして、この渋滞検知AIの精度の向上ですとか、本技術を生かしてもらおうべく、日本道路交通情報センターや、渋滞情報を提供している民間のウェブサイト上のサービスとの協業に向けて活動していくと聞いているところでございます。

簡単ではございますが、共同事業のご紹介としては以上となります。

○事務局員（渡辺） 吉田課長ありがとうございました。

5月の第2週に予定しております推進会議では、先ほどご紹介があったとおり、早稲田大学の山名教授から委員の皆さまにこの取組についてご紹介をいただく予定です。

最後に質疑と連絡となります。

それでは、ここまでの議事の内容で何かご質問、ご連絡等ありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、以上で令和5年度第1回東京都渋滞対策推進会議幹事会を終了いたします。ありがとうございました。

○一同 ありがとうございました。

午後3時22分閉会